

キッズリーダー講習会 in 常磐大学高校

2017.9.10(sun)

2017年9月10日(日)常磐大学高等学校にて、キッズリーダー講習会(U-6)を実施いたしました。今回の講習会では、常磐大学高校サッカー部1年生38名とホーリーホックコーチ2名を対象に講義と実技を行いました。

今回は、タイムスケジュールの都合上実技を先に実施しました。実技は約90分「身体を動かす楽しさ」「身体を動かす喜び」を感じていただく事と、「様々な動きを体験する」を目的に4つの係(鬼ごっこ・ボールフィーリング・動きづくり・ゲーム)を組み合わせたメニューを実施しました。

始めに、緊張をほぐすためにアイスブレイクとして「フープリレー」(手を繋いで円になり、どこか一か所にフープを通し、手を繋いだままフープを一周回す)をし、鬼ごっこでは、歩き・スキップ・ケンケン・手つなぎ・握手など様々なバリエーションを体験してもらいつつ鬼ごっこの重要性を考えてもらいました。

動きづくりやボールフィーリングでは、「高校生のまねっこ」をテーマに、実際にキッズフェスティバルでは、担当する子どものレベルに応じてメニューを考え自分のまねをしてもらう(ボールを投げ上げキャッチ・様々なボールタッチ・ドリブルなど)ことを伝え、実際にペアになりコーチ役こども役に分かれて様々なメニューのアイデアを出しあいました。なかなかアイデアが浮かばないグループも多くみられましたが、一生懸命考えて取り組んでいました。その後、2人が攻め1人が守りのコーン当てゲームを行いました。ここでは足でボールを扱いながら守りの隙を見つけてコーンに当てる勝負をしてもらい、足で扱う難しさや、勝負する楽しさを感じてもらえたのではないかと思います。

休憩をはさみ、最後は3対3、4対4などの少人数でのゲームを行いました。真剣勝負の中にも、とても無邪気にサッカーしている姿が印象的でした。





講義も実技同様 90 分行いました。始めに他己紹介（パートナーを周りに紹介）を行ったことにより、いい雰囲気ですべての講義をスタートすることができました。こどもの発育発達概観では、スキヤモンの発育発達曲線を使いながら、年代によって取得しやすい能力の違いを説明しました。子どもたちのサッカーでは、個人差がある事、楽しむことの大切さ、様々な動きを取り入れ神経系に刺激を与えることの大切さなど、キッズ年代に大切な特徴を説明しました。子どもたちへの接し方では、保護者や指導者として、キッズを自立させるための関わり方などを説明しました。そして最後に、私たち大人には、「子どもたちに喜びと夢を与える責任がある」こと、だからこそこどもの成長過程を理解し関わってあげましょと伝えさせていただきました。



講義終了後、受講者一人一人に修了証のグリーンカードをお渡しし、全員で集合写真を撮影し講習会は終了しました。



<参加者コメント>

- ◇まず子どもたちに好かれることが大切。そのためにおもしろく、また子どもたちが上達できるようなトレーニングをしていく。そして、流行を取り入れ笑いをとる。子どもたちを愛し、子どもたちに愛されることが大切。子どもたちがまだやりたい！と思えるようにキッズリーダーをしたい。
- ◇とにかく子どもたちがサッカーや運動が楽しいと思えるようにキッズリーダーを行うことが大切。そのためにはわかりやすい言葉や興味を持つような動きをして楽しませる。子どもたちの雰囲気やテンションに合わせて行うことの大切さを学べた。
- ◇子供の年齢によって適した練習を行うことが重要であることが分かった。また、楽しませることや、子どもの気持ちを考えて行うことが大切だということが分かった。
- ◇今まで小さい頃に教えてくれたコーチは、子どものことを考え適切な教え方をしてくれていたのだと思った。また、今回学んだことをいかして子どもを楽しませられる指導ができればと思う。
- ◇子どもは全てがチャレンジだから、見守ることが大事ということが印象に残った。子どもの目線に立って話すことも大事。子どもにとって自分たちはコーチ。講習を受けられて良かった。

<サッカー部 竹本 浩 監督コメント>

本校サッカー部には、現在 70 名の部員がおり、「全ての選手に公式戦の出場機会を」をモットーに活動を行っています。リーグ戦にも 4 チームが出場し、プレーヤーとして日々練習に励んでいます。同時に、サッカーやスポーツとの関わり方は、プレーヤー以外にも数多くあるということを学ぶため、本校では、毎年 1 年生を対象にキッズリーダー講習会を実施していただいています。

当日は、実技と講義の 2 本立てでキッズ年代の特性や指導法について学びました。実技は童心にかえり笑顔のあふれた実践となりました。プレーする喜びを再確認できたとの声も聞かれ、プレーヤーとしてもコーチとしても大切な事に気づいてくれたと思います。また講義では、日頃教わる側の生徒たちにとって「教えること」はとても難しいようで、ここでも日頃のトレーニングの中で気付かなかった「指導のポイント」にも気付く良い機会となったようです。

今後、生徒たちには、実際にキッズフェスティバルで指導する機会があります。子どもたちにとって素敵なサッカーとの出会いとなるよう、今回の学びを活かしてほしいと思います。また、生徒たちにも、子どもたちとの出会いから何かしらの得を欲しいと願っています。御多忙の中、高校生に対してあたたかくご指導していただいた講師の皆様、本当にありがとうございました。

講師 檜山魁斗 (茨城県キッズ委員 JFA 公認キッズリーダーインストラクター

水戸ホーリーホック普及コーチ)

茨城県では高校生へのキッズリーダー取得を進めており、今回は常磐大学高校サッカー部1年生38名、ホーリーホックコーチ2名に受講いただきました。実技では、無邪気に楽しみ、講義では、楽しみながらも真剣に受講してくれました。今回は、その後に予定している「ユースキッズフェスティバル」で実際に実施するメニューを中心に実技を行ったので、少しは当日のイメージを持てたかなと思います。その中で、「子どもたちにとってはみんなが初めてのコーチかもしれないからこそその立ち振る舞いの大切さ」「子どもの目線にたって話をすることの大切さ」「子ども以上に自分自身が楽しむことの大切さ」も一緒に伝えさせていただきました。

今度のフェスティバルでは、学んだことを活かして、子どもたちにとって記憶に残るお兄さんになってもらえたら嬉しいです。そして、今後様々な形でキッズ年代に関わってくれる生徒が増えてくれたら幸いです。

参加していただきました生徒の皆様、この場を提供していただきました常磐大学高校竹本浩先生ありがとうございました。